

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 櫻井 雅美

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 6 年第 3 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 子ども・子育て支援事業計画について	【趣旨説明】 こども家庭庁の設置、子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改正に伴い、本町の計画も将来を見据え大きな変革が必要となっています。特に、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化のため、市町村における児童福祉および母子保健に関し、包括的な支援を行うこども家庭センターの設置の努力義務化、支援を要するこどもや妊産婦等への支援計画(サポートプラン)の作成、子育て家庭への支援の充実等が定められました。そのため、今年度中に策定される子ども・子育て支援事業計画によって、既存の計画にも大きな影響があり、見直しが必要とされと考えます。また、本町においては今年度から 2 年をかけて総合計画の見直しによる後期基本計画の策定を行うため、整合性も重要となります。そこで、以下質問します。 【質問事項】 ① 計画期間の 0 から 18 歳の人口の推移の推定は。 ② 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて具体的な重点施策は。 ③ 義務教育期間の子育て支援の在り方についての考えは。 ④ 総合計画の見直しとの整合性についての対策は。
2. 教育環境について	【趣旨説明】 家庭を巡る状況としては、核家族やひとり親家庭、共働き世帯の増加など、家族形態の変容やつながりの希薄化等を背景に、生活保護世帯の増加に見られる貧困問題の深刻化、子育ての不安や問題を抱え孤立する保護者の増加、児童虐待相談対応件数の増加など、家庭教育が困難な現状が指摘されており、決してこれらは一部の特別な家庭の問題ではありません。このほか、子どもが被害者や加害者となる様々な事件が発生しており、地域で家庭や子どもを見守り支えることの必要性が指摘されています。こうした観点からも、学校と地域の連携・協働を一層進めることの重要性が増していると考えます。そこで、以下質問します。 【質問事項】 ① 不登校児童生徒について、学校外での教育の保障に対する考えは。 ② 問題行動を起こす児童生徒に対する対応は。 ③ 障がいや特性のある児童生徒に対する対応は。 ④ コミュニティスクール制度で目指すべき姿は。